

科目名		リハビリテーション医学特論	
科目責任者	佐 伯 覚	(リハビリテーション医学 教授)	
担当者	松 嶋 康 之	(リハビリテーション医学 准教授)	
開講時期: 1～2年次		単位数: 6 単位	時間数: 90分× 45 回
● 科目の教育目標 一般目標 (GIO) 疾病、外傷や加齢などによって生じる障害の予防、診断ならびに治療方法を学び、機能回復および活動性向上や社会参加に向けてのリハビリテーションの方略について理解を深める。 行動目標 (SBOs) 1) 障害の概念とその分類方法を説明できる。 2) 頻度の高い疾患や外傷の診断と治療方法を概説できる。 3) 理学療法、作業療法および言語聴覚療法の技法を概説できる。 4) 非侵襲的大脳刺激法の種類と手法を概説できる。 5) 神経生理学的検査(筋電図、脳波、誘発電位など)の手技を概説できる。 6) 嚥下機能評価(スクリーニング、嚥下造影、嚥下内視鏡など)を概説できる。 7) 痙縮の評価と治療を概説できる。 8) 高次脳機能障害に対する神経心理学的評価方法を概説できる。 9) 三次元動作分析装置を用いた歩行分析の方法を概説できる。 10) 障害者の職業復帰支援方法について説明できる。			
● 評価方法	検討会での討論20%・発表40%・レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)
障害学論
機能評価の技法
理学療法の実際
作業療法の実際
言語聴覚療法の実際
補装具の種類と適用
非侵襲的大脳刺激法の臨床応用
神経生理学的検査の臨床応用
嚥下障害の評価と治療の実際
痙縮の評価と治療の実際
神経心理学的検査の方法
三次元動作分析装置による歩行分析
リハビリテーションチームの運営と管理
障害者の職業復帰アプローチ
治療と就労の両立支援